

しんあい

季刊

2023年(令和5年)6月20日発行 第126号 ◆編集と発行 しんあい編集部

社会福祉法人
多摩同胞会

〒183-0042 東京都府中市武蔵台1-10
TEL 042-367-8801
<https://www.tama-dhk.or.jp/>
をぜひご覧下さい!



5月5日こどもの日。子どもたちが健やかに成長しますように。(しらとり)

泉苑

- ・特別養護老人ホーム信愛泉苑
- ・高齢者在宅サービスセンター 泉苑ケアセンター
- ・府中市地域包括支援センター泉苑

緑苑

- ・養護老人ホーム信愛寮
- ・特別養護老人ホーム信愛緑苑
- ・府中市地域包括支援センター緑苑

あさひ苑

- ・府中市立特別養護老人ホームあさひ苑
- ・府中市立あさひ苑高齢者在宅サービスセンター
- ・府中市地域包括支援センターあさひ苑
- ・府中市高齢者住宅うらら多磨

神田事業所

- ・特別養護老人ホームかんだ連雀
- ・併設 定期巡回随時対応型訪問介護事業所
- ・高齢者あんしんセンター神田
- ・千代田区立岩本町ほほえみプラザ
- ・千代田区立かがやきプラザ相談センター

児童福祉

- ・母子生活支援施設網代ホームきずな
- ・母子生活支援施設白鳥寮
- ・子ども家庭支援センターしらとり
- ・府中市子ども家庭支援センターたち

- ◆ 社会福祉法人を考える17
- ◆ 2023年度
新入職員のご紹介
- ◆ 2022年度BESTブログ2
- ◆ 施設だより
「笑顔になれる瞬間」



社会福祉法人 を考える 17

～社会福祉基礎構造改革から24年 ① 特別養護老人ホームを通して～

理事長 鈴木恂子



「感染対策を継続しながらも、日常を取り戻す!」2023年度の合言葉のように当法人各施設もご利用者の感染リスクを避けるために基本的な予防対策に取り組みながら、4年前の生活を取り戻しつつあります。

新年度がスタートして間もない4月10日厚生労働省老健局高齢者支援課長名で都道府県介護保険主管部(局)長あての通知「指定介護老人福祉施設等の入所に関する指針について」(平成26年12月12日付)の一部改正について(老高発0407第1号・令和5年4月7日)が発出されました。

この通知は、平成27(2015)年度より施設入所が原則要介護3以上となった際に、「居宅において日常生活を営むことが困難なやむを得ない事由があることによる要介護1又は2の方の特例的な施設への入所(特例入所)が認められる」とした通知の改正です。

施設入所は要介護3以上という原則が浸透し、特別養護老人ホームの入所判定会議等でも要介護1、2の方はほとんど入所候補者の対象とされず、地域包括支援センター等から個別に在宅生活の困難な状況等の情報提供があり、特例入所につながることもまれにある、という実情でした。

なかには特別養護老人ホームへの入所申込をあきらめる、あるいは施設が受理しないという例もあったようです。

今回の改正通知は、特例入所、即ち要介護度が軽くとも地域に於いて日常生活が困難な方の施設入所についての趣旨が明確に示されました。

とりわけ改正後の通知に、特例入所に関する指針の作成及び特例入所の運用について、「老人福祉法第11条第1項第2号に基づき、市町村は必要に応じて、特別養護老人ホームへの入所の措置等をとらなければならないとされており、管内の市町村において適切な運用を図られるよう、必要な助言及び適切な援助を行うこと」と明記されたことに大きな意義を感じています。

今年度の当シリーズでは、社会福祉基礎構造改革の光と影が明確になった24年間に社会福祉法人の立場から、当法人の施設と地域の変化をまとめます。第1回:特別養護老人ホーム、第2回:養護老人ホーム、第3回:母子生活支援施設、第4回:地域包括支援センター等 を予定します。

特別養護老人ホーム及び関連する地域の変化 ※「特別養護老人ホーム」は老人福祉法の施設、「介護老人福祉施設」は介護保険法の施設で、同一の施設です。

	～2000年3月 (老人福祉法：特別養護老人ホーム)	2000年4月～2023年現在 (介護保険法：介護老人福祉施設)	2000年～現在 地域の課題	～2023年 (新しい動き)
入所手続	自治体(区市等)に申し込む→措置により入所を決定する。 介護を必要とするが在宅で介護を受けられない方を対象に家族、住居、経済力を総合的に判断し自治体が入所を決定する。	入所希望者が直接施設に申し込む→契約により入所を決定する。(一部自治体は申込受付している) 法律上は要介護1以上としているが、2015年以降は原則要介護3以上になった(要介護1、2は特例入所扱いとなる)	・多様な要介護者向き住宅の急増(高額な有料老人ホームから生活保護受給者を対象とした高齢者向け住宅まで) ・いわゆるゴミ屋敷化した高齢者のみの住居多発	・生活支援コーディネーターへの配置 (例)社会福祉協議会を中心に小地域ごとに配置している
費用負担	措置費(月額)に対して本人及び家族の収入により費用負担があった(応能負担)。所得の多い人ほど費用も大(自治体に納付)。措置費は職員の人件費を中心とした事務費と利用者の生活費を中心とした事業費で構成。	要介護度に従い保険給付単位決まる。各種加算適用により給付加算となる。 別に2000年日常生活費、食費、2015年居住費、食費が自己負担となり負担軽減として補給給付が導入された。自己負担は応益負担となり介護報酬の1割、2021年から一部2割となる。	・孤独・孤立化・地域との断絶、拒否 ・老老介護等から介護負担増による事故・事件	・居住支援 国土交通省の住宅あっせん事業&厚生労働省の生活支援事業 ・地域共生社会の推進(改正社会福祉法) お互い相互に支え合い生きがい役割をもって暮らすコミュニティづくり
施設機能	介護を必要とする方の生活を保障する場 要介護高齢者の在宅での生活が困難な方(経済的要件はない) 4人室を基準に一部個室整備	介護サービスを提供する場 要介護度の高い方が多く、医療的ケアを加算として評価し、個別サービス提供計画が重要となる。 4人室を多床室とし、新設施設は個室ユニットが基準となり、居住費負担増となる。	・障害のある子どもを介護してきた親の高齢化(親が介護を必要となっはじめて表面化する閉鎖的家族問題も)で顕在化した8050問題 ・ひとり暮らしが困難な経済力を持たない虚弱高齢者対応として、生活保護受給&地方サービス付高齢者住宅(住み慣れた地域からの分離) ・虚弱高齢者の軽犯罪の繰り返し(刑務所内の高齢化・要介護者増)	・重層的支援体制整備事業 ・断らない相談支援(多機能協働の中核機能) ・相談支援関係者の連携、つなぎ
職員体制	東京都内施設の場合、利用者3に対し1名の直接処遇職員(介護職+看護職)、国基準は4対1、措置費(事務費)により配置基準が示されており、正職員を原則とした(後に2割は非常勤を可とした)。 配置基準は介護員、看護職員の外に施設長・生活相談員・事務員・栄養士・調理師・マッサージ師、非常勤医師(東京都の場合は理学療法士又は作業療法士、協力機関等)	直接処遇職員3:1が全国共通の配置基準となる。但し非常勤職員による常勤換算も可能となる。 医師・看護師・機能訓練士・管理栄養士等の医療職必須の加算制度が増加(基本報酬は報酬改定ごとに減額している)。 (事務員、調理員は配置基準には含まれていない)。 働く職員の流動化が進むとともに人材難が深刻化。 人材難に伴い外国人の就労、派遣職員等による補充が進んでいる。	↓ 地域で住居・介護・経済力をもたない虚弱高齢者が安心して生活を継続できる場が失われている	・地域づくりに向けた支援(地域づくりコーディネート) ・孤独・孤立対策室設置(内閣府)

介護保険法が成立した平成9年(1997年)の東京都の報告書(平成9年特別養護老人ホーム入退所計画実践試行的事業報告書)に次の記述があります:要介護度と在宅生活の継続の関係では相関関係はなく、住宅・介護・経済力のバランスが在宅生活の継続に影響を及ぼしています。

施設に入所することにより、これらの3条件が整うことによって、生活の継続が可能になりました。要介護者にとってこの3条件は生活を続けていくための必要条件なのです。

事実、当時の特別養護老人ホームの入所者は約25%が軽介護度の方でした(東京都社会福祉協議会高齢者施設部会調査)。

このように老人福祉法による特別養護老人ホームによって生活の継続を可能にしていた軽介護者が介護保険法により行き先を失い、様々なひずみにつながっていることは否めない現実でもあります。その意味で今回の通知がもつ意義が大きく、早速当法人の特養4施設で改正通知を確認し、今まで以上に特例入所に取り組むことにしました。

生活の基本となる衣食住が2000年以降自己責任に集約され、24年間の歳月のなかで自分の力だけでは対応できない人々やできないことが明らかになり、地域課題に対応する新たな動きが活発になっています。

あさひ苑



- | | | | |
|--|--------------|---|---|
| ① 宮田 卓司 | ① 菊地 歩 | ① 菱沼 千陽 | ① 原 幸子 |
| ② 調理員 (食事係) | ② 介護職 (通所介護) | ② 看護師 (ホーム) | ② 介護職 (ホーム3階) |
| ③ 調理師 | ③ 正看護師 | ③ 正看護師 | ③ 介護福祉士・介護支援専門員・社会福祉士 |
| ④ 旅行、ゲーム。去年までは一人旅を自粛していたので、今年こそはと考えています。 | ④ 動画視聴 ネット検索 | ④ コーヒー・美味しいものが大好きです。K-POPをよく聴きます。飼っているウサギを溺愛しています(今年で7歳!) | ④ 大阪出身の49歳。大阪の食べ物が大好きです。東京では2時間半も並んで大阪名物「551豚まん」を買いました。 |

緑苑



- | | | |
|---------------|---------------|--------------------------------------|
| ① 福岡 伶奈 | ① 島田 純一郎 | ① 豊住 奨 |
| ② 介護職 (従来型特養) | ② 介護職 (従来型特養) | ② 介護職 (地域密着型特養) |
| ③ なし | ③ 介護職員初任者研修修了 | ③ 介護福祉士 |
| ④ 体を動かすこと | ④ 競馬 | ④ 家でゴロゴロと過ごすこと(録画したドラマや映画を観る、ゲームをする) |

2023年度 新入職員をご紹介します!!

福祉施設の人材難が言われていますが、介護、看護、保育、調理と様々な職種の方々が多摩同朋会の一員となりました。2022年度の中途採用及び2023年度新入職員11名を対象にした入職時基礎研修を2023年3月28日から30日の3日間に渡り実施しました。研修は、鈴木理事長による法人の理解、倫理綱領からはじまり、福祉制度の理解、法人の諸規程、ルールの理解、リスク管理、チームコミュニケーション等全部で14講座、講師は役員、管理職が務めました。今回は4年ぶりに全講義を対面で行い、参加職員の交流もはかることができました。また、最終日には府中市内にある高齢施設を見学しました。神田地区配属の職員はなかなか府中に足を運ぶ機会はないので、「大きな施設でびっくりしました。明るい職員に会うことができ前向きな気持ちになりました。」「色々な施設の雰囲気を見ることができました。養護老人ホームの特養との違いが印象に残りました」という感想もありました。

①氏名 ②職種(所属部署) ③資格 ④好きなこと、趣味 で各職員をご紹介します。



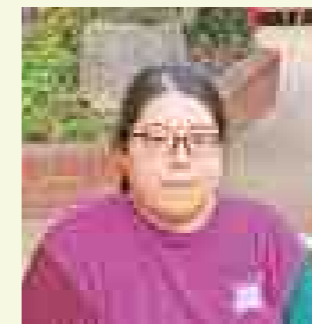
久しぶりに同期の交流がはかれました。

理事長の講義により法人理念を学びました。

府中、神田、児童に分かれてそれぞれの特色を学びました。

岩本町

- 清水 綾乃
- 介護職 (グループホーム)
- 介護職員初任者研修修了
- イラストを描くこと。アニメや映画の鑑賞



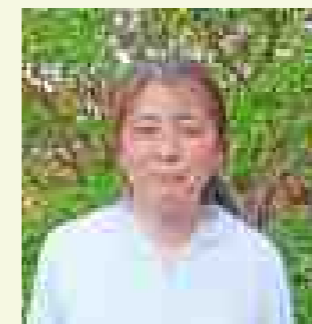
かんだ連雀

- 村山 美和子
- 居宅介護支援専門員
- 介護支援専門員 看護師
- 1年前からバドミントンを始めました。土日2~3時間やっていますが、全然上達しませんが、仲間と身体を動かすことがストレス発散になっています!



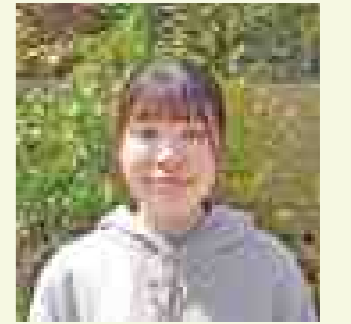
しらとり

- 白井 厚子
- 母子支援員
- 社会福祉士 精神保健福祉士 保育士
- 美味しいものを食べる



きずな

- 中野 真那
- 少年指導員
- 社会福祉士
- YouTubeを見ること、食べる



施設 だより



笑顔になれる瞬間

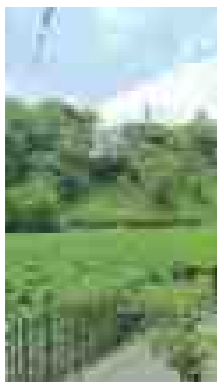
新年度が始まり数か月たちました。マスクを外す機会も増え、表情が見える喜びを感じています。今回は各施設より『笑顔』あふれるお便りをお届けします。



また、会える
ことを楽しみに

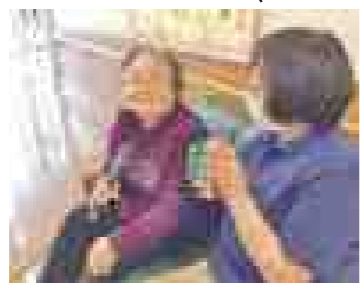
千代田区にある『かがやきプラザ』は九段坂病院と合築の建物になります。裏手のお堀側(牛ヶ淵)には階段とスロープがあり、一周回れる仕組みで九段坂病院に入院されている方が自主リハビリで歩行練習をされる姿をお見受けします。
先日、歩行練習をされている高齢の女性が足を止め、お堀を眺めていました。「ここは桜がすごく綺麗に咲くところですよ。」と仰るので、「桜も綺麗ですが、お盆の時期に見られる蓮の華も見事なんです。退院されて外来で来られる際には見に来て下さいね。」とお伝えしました。
6月、緑が青々とした蓮の花が水面一面を覆いつくす頃、お話をさせて頂いた方と元気な姿で再会できることを楽しみに心待ちにしています。

相談員(社会福祉士) 小島佳枝



さあ！
歌いましょう！

ここ数年のコロナ禍では「人と会えない、外食できない」など制限されることが多く、いつ自分も感染するかわからない恐怖と戦っていたように思います。
そんな中、シヨートステイのご利用者にとのようにして楽しんで頂くか、密にならないように何かやるにはどうすればよいかと考えるながら、声を出さなくても出来る活動をしてきました。
しかし今年になってコロナ対策も緩和されて、感染対応をしながらか普通生活ができるようになりました。先日、歌が大好きなSさんとカラオケを行いました。「いくらだって歌うわよ」と時々振り交えて大きな声で歌いました。
歌うことは楽しい、ストレス発散になると身をもって感じています。
ほんの小さなことかもしれませんが、やっと歌える、声を出して楽しむことが出来る、普通の生活ができていくことに喜びを感じています。



シヨートステイ担当(介護福祉士) 五十嵐敬子



待ちに待った
神田祭！

今年は、4年ぶりに江戸三大祭りのひとつ「神田祭」が開かれました。
かんだ連雀のご利用者には「神田っ子」の方も多く、お祭りの日か近づくと心が騒いで仕方ない様子でいらつしやるのを何度もお見掛けしました。
「昔は、足腰が立たなくなるまで担ぎ倒したよ。こつやつてエイヤーっ！てね。」とお神輿を担ぐ仕事をしたり、「うちの孫が、今年手古舞をやるんだって。楽しみだわ。」と教えて下り、お祭りの話をする時のご利用者は、いつも以上に目が輝いていました。

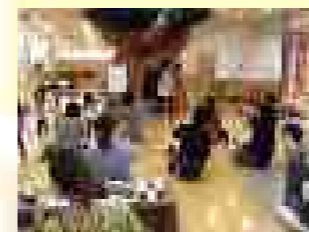


ホーム相談員(社会福祉士) 久米洋平

体を動かして楽しもう♪

[2022年11月22日(Tue)]

交流ひろばでは、11月の毎週火曜日11時から、「体を動かして楽しもう♪」という企画で音楽に合わせて「バナナくんたいそう」を行っています。大きいお友だちはスタッフを見ながら一緒にダンス♪小さいおともだちはママの抱っこでゆらゆら。どの親子さんをもってニコニコで、スタッフも思わずニコニコ。最後はみんなでのび～をしながら腰を徐々に曲

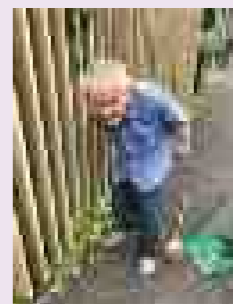


げていき、バナナになっておしまいです。踊っている姿はみんなとても可愛らしく、微笑ましい瞬間でした。(たっち ばななん)

ありがとうございます [2022年09月19日(Mon)]

宿直業務の朝、事務所にいると窓の外から聞こえてくる「サッサ、サッサ」とほうき

音。信愛寮にお住いのAさんは、毎日敷地内の掃除をしてくださっています。施設外周から屋上まで、掃除の後は植栽の中まで雑草が見事になくなって



ています。「Aさん、いつもありがとうございます」

Aさん「お世話になっているから、これぐらいのことはしないとね」
いえいえ、いつもありがとうございます。(事務局 まこ)

泉苑敬老の日 フォト撮影会

[2022年
09月04日(Sun)]

泉苑特養の皆様が楽しみになさっている敬老祝賀会に先立ち8月14日写真撮影が行われました。撮影に際し、お化粧品用のMyポーチを持参される方もあり、

お化粧品前にも関わらず真剣な中にもキラキラとした期待が表情に垣間見えます。メイク中の鏡に向かった皆様全員笑顔があふれ、お手伝いの「にわかメイクアップアーティストとヘアメイクアーティストの職員たち」にも笑顔があふれます。ピフォーの笑顔から、アフターになり、恥ずかしげな笑顔、また優しげな笑顔、そして嬉しい涙もありました。ご自分に一番似合う衣装を纏い、いよいよ写真撮影。胸に抱いた花束以上に、ご本人がより美しい表情をされていました。来る敬老祝賀会の日には、誰よりもご自分のフォトグラフにうっとりされる事は間違いのないと思いました。(泉苑 銘菓萩の月が好き)



こころとからだ

[2022年11月05日(Sat)]

2022年度 BESTブログ 2

前号でご紹介できなかった施設のBESTブログです。2023年度もブログは継続中です。是非法人ブログをご覧ください。

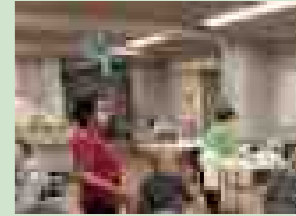
秋も深まってまいりました。スポーツの秋。身体を動かすには良い季節です。

お身体が不自由な高齢者は、室内でテレビを観たり、おしゃべりしたりしている事が多くなりますが、職員の声掛けで午後のひと時ちょっとした活動に参加されています。

風船バレーもその一つ。

普段、のんびりしているご利用者も風船を投げると素早く手が出る、足も出る！！

そのうち風船を追いかける表情も生き生きとしてきて、夢中になっている姿を見てみると、私自身も元気をもらえます。各ご利用者、日々楽しむ事は違いますが、好きな事をする事で心も体も元気になっていくのですね。(緑苑 サザエさん)



私が学んだこと

[2022年11月17日(Thu)]

11月秋も深まり、日が短くなってまいりました。

私は昨年の10月からかんだ連雀に勤めさせていただいています。社会人になったばかりで分からない事だらけでしたが、かんだ連雀の皆様から色々と学ばせていただいています。先輩方からはご利用者への接し方や関わり方、その他にも必要な業務の仕方や些細な事など、丁寧に指導していただきました。また、ご利用者からコミュニケーションの取り方、どうお話しすればご利用者が理解しやすいか、どう説明すれば納得していただけるか、まだまだ勉強中ですが少しずつ学んでいます。先輩方は簡単そうにできていても、実際に自身で体験してみると難しかったことが多くあったり、ご利用者と関わって初めて分かることもありました。



また、亡くなられた4人のご利用者にも学ばせていただきました。1人目の方からは全身状態が良くない場合の変化の観察の仕方や、看護との連携の仕方を学びました。2人目の方は転倒注意のご利用者で、どのような注意が必要か、歩行出来ない時の対応を学びました。3人目の方は医療処置があるご利用者で、

インスリン注射の確認の仕方や対応を学びました。4人目の方は認知症のご利用者で、どのように接し関われば良いかと、それぞれに最新の看取りの接し方を学びました。

ご利用者の方々と関わった時間は短かったですが、皆様笑顔がとても素敵な方々でした。皆様から学んだことを活かして、これからも頑張っていきたいと思えます。

(かんだ連雀 菖蒲)

あさひ苑

新年度、 楽しみな自主 グループ活動

昨年度地域包括支援センターに配属となり、KC（介護予防コーディネーター）として2年目を迎えました。介護予防事業では、3月でヨガの講師をしていた方が辞められ、参加者からは大変残念という言葉が多く聞かれました。それでも続けたいと希望する方が多かったため、職員から自主グループを立上げてはと提案すると、10数名の方が手を挙げ、早速集まり話し合う時間を作りました。役割や会場予約、その他諸々の相談を重ね、講師も決まり順調に事が運びました。5月の中旬、第一回目の活動がとてもしました。初年度から陰で支えてもらい、今回も立上げに尽力してくれたベテラン介護予防担当者に感謝の気持ちでいっぱいです。

地域包括支援センター相談員
（介護支援専門員） 細川真矢



緑苑

笑顔の再会

緑苑では桜の季節にご家族と近隣の公園へ花見にでかけました。3年ぶりに苑外で過ごすひと時に、皆さま笑顔が溢れていました。I様は可愛がっていた愛犬と触れ合うことができ、施設の中だけではみられない満面の笑みを浮かべていらつしやるのが印象的でした。

そのような光景を目にして、嬉しさや感動が私たちの心の中に広がります。コロナ禍で様々な制約を受けてきた今だからこそ、強く感じるのかもしれない。

訓練指導員（理学療法士） 青木雅子



たち

笑顔復活！ コロナ前に たちも復活

コロナウイルス感染症により、長期間事業内容を制限し運営をしてきました。5月8日に感染症法の分類が5類に移行されるに伴い、事業の制限がなくなりました。「以前のたちに戻るのはいつになりそうですか？」と多くのお問合せをいただいていたのですが、やっと元に戻すことができました。制限がなくなり、ごはんを食べに来る方や市外在住の方の利用も増え、交流ひろばだけではなく総合受付エリアにも絵本を読みにあそびに来てくれるお子さんも増えました。利用しているお子さん達の笑顔を見ると、職員もうれしくなります。また、お子さん達の笑顔につられて、職員も笑顔になっています。みんなの笑顔が継続するように、安心・安全な施設運営に今後も取り組んでいきたいと思っております。

総合受付（社会福祉士） 恩智温子



きずな

楽しい おやつ作り！

きずなの学童では手作りおやつを提供する日があり、子どもたちも楽しみにしてくれています。今回の手作りおやつは、「タコはちよつと高かったので…」と「タコじゃないものが入ってる、なんちゃってたこ焼きです！」

「うわー、なにこのドロドロ」と生地を作る様子を初めて見る子どもいて、「これがほんとに丸くなるの？」と言っていました。

焼いて丸くなっていく様子を見ると「ほんとだー丸くなったーすーい」と素敵な笑顔を見せてくれました。作った後はみんなまでいただきました！

「おうちーももっとちよつとだー」とたくさんの笑顔が見られて、こちらも嬉しい気持ちになりました。

これからもみんなが笑顔になる企画を、子どもたちと一緒に作っていききたいと思います。

学童担当（保育士） 宮田貴之



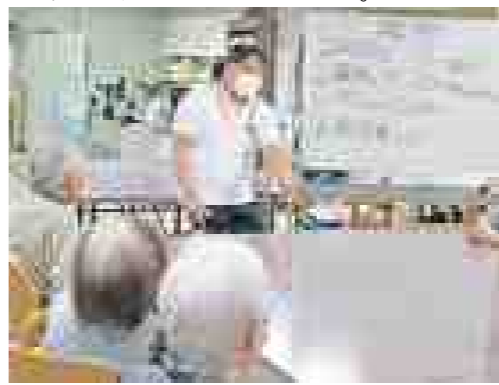
泉苑

家に帰るまで 全力で 楽しめます！

ご利用者へ、ご自宅に帰るまで泉苑デイサービスを楽しんで頂けるように、難読漢字や雑学などのお題を用意して、レクリエーション活動としてクイズ大会を開催しています。みなさんからは様々な質問や答えが飛び交いますが、職員は「こやかに答えていきます。惜しい答えが出るたび、みなさんの顔が真剣になります。だんだんと知識を総動員して正解に近づいてきますが、職員は「がんばれ！」と心の中で思いながら正解に近づけるようにヒントを出します。

ついに正解が出た時、集中した雰囲気が一瞬にしてガラッと崩れていきます。解説を聞いているお顔はなるほどね、と言いたげな表情。全体がリラックスした雰囲気になります。そして、家に帰る時間になってしまつと、みなさんは残念がるような雰囲気。職員も残念です。これからは皆様と、このような時間を共有していきたいと思っております。

デイサービス介護員
（介護福祉士実務者研修生） 岸仲年



しらとり

初めての挑戦！ トウモロコシとスイカの 収穫に向けて

今年もしらとりファームでは子どもたちと一緒に畑で食物を育てます。学童の子どもたち畑で育ててみたいものを聞いたところ、「トウモロコシ！」「スイカ！」と夏の風物が挙がりました。

まずは雑草でいっぱいになっていく畑を耕すように、2mを超え、菜の花を抜き、野菜栽培用の土や牛ふんを混ぜて土作りを行いました。子どもたちは初めて使う道具に悪戦苦闘しつつ、職員に使い方を聞きながら土作りに取り組みました。土を混ぜた後は2週間ほど待つから、種と苗を植える作業をします。

職員にとっても初めての挑戦になりますが、夏に美味しいトウモロコシとスイカが収穫できるのを楽しみに、子どもたちと一緒に楽しんで作業したいと思います。

少年指導員（保育士・幼稚園教諭） 山田梓



ニュース III I

泉苑・しんあい オペラコンサート



3月26日に3年ぶりに、むさこい桜まつりが開催されました。

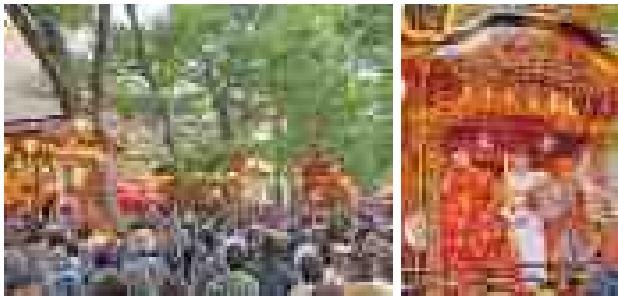
泉苑非常勤職員でオペラ歌手のAさんが、前半はしらとりの子供たちと、後半は泉苑のご利用者と一緒に歌を歌い、最後に本物のオペラアリアを披露してくださいました。迫力のある歌声に鳥肌が立ちました。ご利用者も職員も楽しいひとときを過ごしました。

あいにくの雨で満開の桜は近くで見ることができず、お花見は室内からとなりましたがオペラコンサートに大いに盛り上がりました。

(管理栄養士 菊嶋希予乃)

ニュース III II

くらやみ祭り



武蔵府中大國魂神社例大祭のくらやみ祭りは、4年ぶりに神輿渡御の復活となる開催となりました。

5月3日から5月6日までの様々な神事が執り行われ、同時に競馬式、萬燈大会、山車行列などが開催されました。3日の府中囃子の競演では、子どもたちが普段のお稽古の成果を披露し、境内の露店ではゲームやかき氷などを楽しんでいました。

(事務局 上野廣美)

けやき並木のにぎわいも復活しました 府中囃子の子どもたち

ニュース III III

神田祭



5月14日(日)に神田祭が開催されました。4年ぶりの通常のお祭り開催ということで混雑が予想されるため、コロナ感染予防に配慮してかんだ連雀1階ホールからの見学参加としました。

かんだ連雀の前では須田町北部町会の神輿が練り歩き、ご利用者の皆様も「そいやっ！そいやっ！」と大きな掛け声と拍手で楽しみました。2年後は、祭りの輪に入ります!!

(ホーム次長 中村小夜子)

ボランティアの御協力ありがとうございます

(敬称を省略させていただきます)

市川知子 一般社団法人エスコートダンス協会 尾花 梶田佳子 具嶋郁子 黄美華 児島章子 小林わか子 小柳亜樹子 近藤豊子 j-fit 下江美鈴 すみれ会 高石 稔 高倉祥子 高橋ヤヨイ 滝沢冷子 勅使河原みどり 栃谷さき 中田由香里 根深正子 三門正史 宮崎清子 三輪孝子 村井福子 柳谷夏見 山田朋美 脇山令子 (2023年3月～2023年5月)

御寄贈・御寄付ありがとうございます

(掲載を可とされた方のみのお名前です。敬称を省略させていただきます)

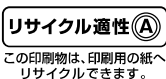
アメリカンスクールインジャパン 岩田久美子 鹿島由美子 片岡宏子 株式会社むむ 一般社団法人cornerstone・SHI・ZU・E 国際ソロプチミストあきる野 小村信裕 榊原由紀子 全国食支援活動協力会 NPO法人ソシオキュアアンドケアサポート 第一三共株式会社 パンクフォースマイルズ 日置信子 公益財団法人報知社会福祉事業団 間宮弘子 柳谷順 (株)ラザードフレール(2023年3月～2023年5月)

介護に関するご相談は無料ダイヤルで!

- 泉苑 老後支援 24時間
☎0120-6540-24
- あさひ苑 福祉にっこり 24時間
☎0120-2942-24



法人ウェブサイトはこちら Facebook 更新中 採用情報サイトはこちら



お気に入りになりそうな珈琲豆を探すこと。

(あさひ苑 佐藤知也)

成長した子どもたちと話すことが何よりの楽しみです。公園散策しつつ居心地のよい図書館やカフェを探す休日も好きです。(事務局 青木志乃)

ペラングの山椒の木に産み付けられた卵からアゲハ蝶になる幼虫の観察

(編集長 上野廣美)

住まいのリフォームのために断捨離、使わないものを捨てるのも楽しい。

(泉苑 内田亮輔)

どこかに行きたい！旅行冊子をめくりワクワクしています。(事務局 西郷加代子)

甘いもの(特にチョコレート)を食べること。

(岩本 玉城多美子)

声出しが解禁されたライブに行き、会場の一体感や熱量を味わっています。

(しらとり 阿部泉妃)

観葉植物に、水を上げながら成長を見届けています。(かんだ連雀 曲瀬朋未)

以前から好きだった映画鑑賞を、最近も満喫しています。

(たっち 恩智温子)

プロ野球の声出し応援が解禁になったので応援に行くのが楽しみです。(緑苑 森正幸)

編集後記

毎年度、各施設から選出された編集委員が季刊紙づくりを担当します。編集委員は最近こんなことを楽しんでいます。

野球・サッカーのシーズンになり、スポーツニュースを見ること。(あさひ苑 千代田俊広)

離れて暮らすペットに、いかに自分を思い出させるか模索中の時間。(緑苑 鈴木律子)